

踊りハボタンをつくろう

Q. 鉢植えのハボタンを使って踊りハボタンをつくりたいと思います。要点を教えてください。

A. 4月中旬ごろに花下まで切り戻し、5月中旬に植え替えて、脇芽を伸ばすと8月下旬ごろに茎の先に小さなハボタンができます。11月下旬には葉が色づき踊りハボタンができあがります。

<ポイント>

水切れさせないこと、特に夏。施肥は4月中旬から8月下旬まで。アオムシ、アブラムシはアセフェート剤、べと病はTPN剤で防除。

1. 4月中旬、花後に切り戻す

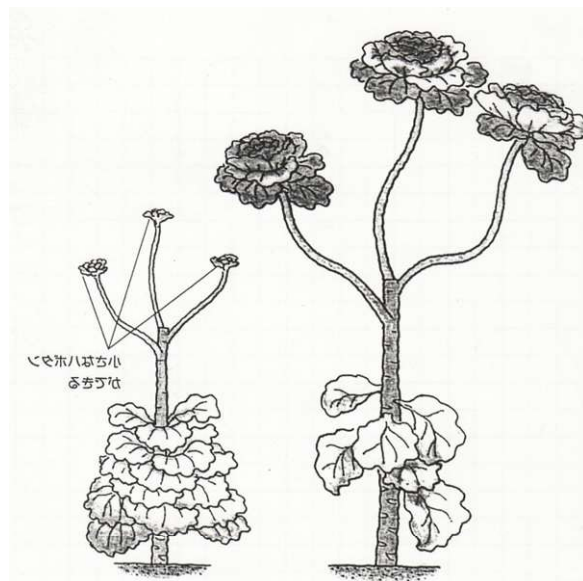
花下で切ると5月中旬には3-5芽が伸び出します。このころに根鉢を崩さず2まわり大きな鉢に植え替え、元肥を与えます。その後、緩効性化成肥料を追肥として施します。

2. 8月下旬に小さなハボタンができる

伸びた茎の先にできた小さなハボタンを支柱で誘引しながら仕立てます。11月上旬ごろには寒さに当たって中心部の葉が色づき踊りハボタンができあがります。



4月中旬



8月下旬

11月上旬

小ハボタン

シャコバサボテンの摘心

Q. シャコバサボテンをきれいに咲かせるのには、摘心が必要とのことですがどのようにするのですか？

A. 春の摘心は先端から 2—3 節を摘み、3-5 節を残します。摘心の後、植え替えます。

ポイント

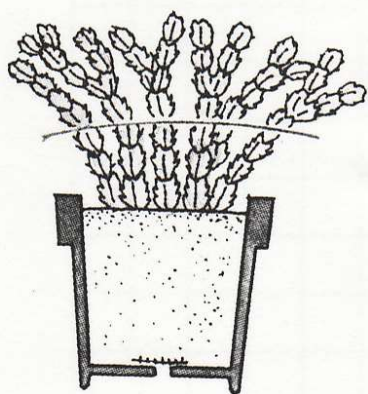
春の摘心は成長を促すために、秋の摘心は蕾のそろいをよくするために行います。

1. 摘心と植え替え

春に行う摘心は、秋の摘心に比べ強めにします。3-5 節を残して節間のところでひねると簡単に取れます。摘み取った茎節は挿し芽に使えます。摘心を終えた株は、鉢土を半分ほど落として一回り大きい鉢に植え替えます。用土はピートモス、バーミキュライト、パーライトの等量混合土です。

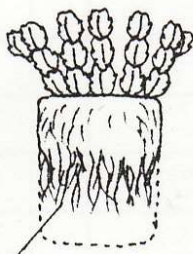


①摘心する



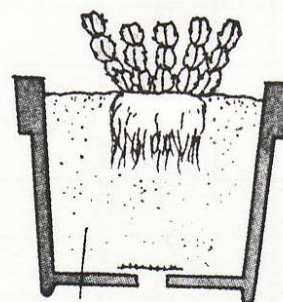
上部の 2～3 節を摘み
とって形を整える

②鉢から抜いて古土を落とす



古土を半分ほど落とす

③一回り大きな鉢に植える



用土＝ピートモス
パーライト
バーミキュライト
の等量混合